

美しい熊本づくり運動を

どう進めるか

熊本県は阿蘇・天草をはじめ、すばらしい自然環境に恵まれています。しかし、それも乱開発や公德心の欠如によってかなりの破壊が進み、このまま放っておけば取り返しのつかないことになりかねません。

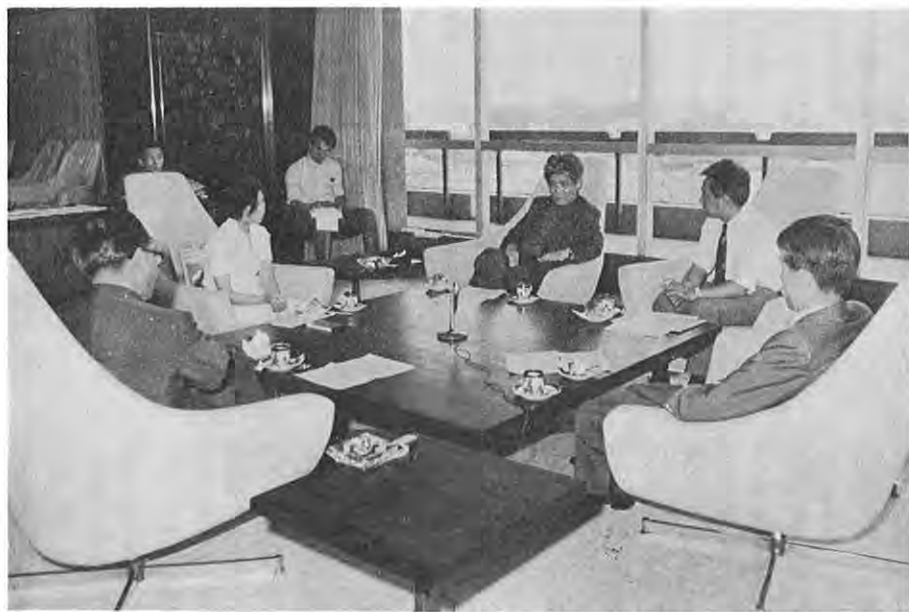
そこで県では、熊本の美しい自然を守り、住みよい生活環境をつくっていくために、ことしから長期にわたる「美しい熊本づくり運動」を展開してまいります。柱となるものは、郷土の清掃浄化・郷土の緑化・自然の保護などですが、副次的には、これを県民総参加の県政への足がかりにしてほしいとも考えます。

きょうは、四人の方をお招きして、沢田知事と「この運動をどう進めるべきか」というテーマでいろいろと話し合っていました。この座談会はさる六月十五日に集録したものです。

知事 きょうは、お忙しいところをお集りいただきまして、誠にありがとうございます。

美しい熊本づくり運動につきましては、これはもう私が申しあげるまでもなく、よくご理解をいただいているとは思いますが、話の皮切りとしまして、この運動のネライと申しますか、趣旨と申しますか、その辺のところを私から簡単に申しあげて、それから、この運動をどう進めたいか、あるいは、こういうアイデアはどうかなど何でも結構ですの、皆さんの忌憚のないご意見をお聞かせいただきたいと思っております。

◆生活の原点にかえて 終戦後、今日までおよそ四分の一世紀



出席者

自然と文化を守る会会長・熊本大学学長	黒田正巳
県観光審議会副会長・日本談議主宰	荒木精
熊本大学講師（植物学）	今江正信
主婦・詩人	藤坂一
県知事	沢田

わけですけれども、その次に言わねばならないことは、本県は、従来、比較的工場場の立地も少なく、一部を除いては、むしろ人口は過疎現象を続けているところ。また本来、阿蘇・天草をはじめとして、非常に自然景観の恵まれた、そういう意味では豊かな県である。そして、急激な経済成長の悪い面が、いままで出ていなかった県であろうと考えるわけ。それで、そういう本県の特徴を大事にしていきたい。

の間、わが国は、経済開発優先というところで、なりふりかまわずやってきたという時代であったと思うわけです。なるほど、それでGNPが世界で何番目という評価をされるような成果を得てまいりましたけれども、この経済発展につれまして、自然環境の破壊とか、公害問題、あるいは都市の過密の問題などが、にわかにはクローズアップしてきました。いうならば、原点にかえて、人間尊重ということ、あるいは生活優先ということを考えてねばならない。そういう時代になってきていると思えます。現在の時点は、その大事な曲り角、転換期にきているという考え方を、前提に持っているわけ。

大きく申しますならば、国土計画自体が転換しなければならぬ。あるいは、政治や行政の姿勢が変わっていかねばならない。そういう時点であろうと思えます。国民的な、県民的な関心というものも、私はそういう方向に転換しつつあると判断をしているわけです。何かひとつ、自然を大事にし、あるいは生活環境というものを潤いのある美しいものにして、本当に私ども人間の生活というものを大事に考えるということが必要であろうかと思うわけです。

◆美しい熊本のイメージを

それから、非常に欲ばった意図がある大切に

さらに、積極的な意味を考えますならば、端的にいうと、レジャーや観光に対する国民的な欲求というものが、今後急速に高まりをみせていくであろうと思えます。単に、県民所得水準を上げるといふ経済的な一面からだけ考えましても、何も公害をたらすような企業を誘致して、工業化をはかるだけが唯一の道ではなからうと考えます。従って、国民的なそういう高まるレジャーへの欲求をガッチリ受けとめて、そして、多くの人を本県に誘致し、喜んでもらい、また金も落してもらうという、そういう条件をいまから作り上げていかねばならない。そのためには、よそからきた人たちに、本当に熊本は美しいところであるといういい印象を与える必要があると考えます。

一方、現状をみますと、実はたつたいま、鹿児島から帰ってきたところですが、鹿児島、あるいは宮崎の町と比べて、熊本がきれいだとは決して言えま

せん。それは、水が豊富である、あるいは森の都といわれる。確かにそういう片りんはうかがえますけれども、町自体はいかにも整頓が行きとどかない。清掃が行きとどかない。雑然としておるといふ感じがいなめないわけです。従って、よそからきた人たちに、熊本はやはり美しい町だというイメージを与えるために、ひとつこの辺で考えてみようということでございます。

もっと端的に、なぜ私がこういうことを提唱しているのかと申しますと、現実の問題として、例えば三角から天草にかけて、海岸に沈没船がたくさん放置されている。海難事故を起こすものにもなるという指摘がなされました。あるいは道路の問題にしましては、歩道と車道が雑然としていて、しかも歩道にはいろいろなものが積み上げられている。間接的に交通事故の原因にもなりかねない。あるいは、山を荒すことによって災害が起きる。それを防がなければならないというふうな他の面での必要性もあらうかと思えます。

◆創意にみちた運動へ

そういういろいろなことを基礎にして考えて、美しい熊本づくりというものを、ひとつ全



▲ 恵まれた自然……美しい天草西海岸の落日